

2020年6月1日

**電通、東大松尾研発の AI スタートアップ ACES、GAORA、共同通信デジタルと共に
野球における姿勢推定 AI アプリケーション「Deep Nine」を開発
— 国内プロ野球球団への試験導入と映像データ分析をスタート —**

株式会社電通（代表取締役社長：五十嵐 博）は、東京大学松尾豊研究室発の AI スタートアップ株式会社 ACES（エーシーズ、CEO：田村 浩一郎）、株式会社 GAORA（ガオラ、代表取締役社長：東 龍一郎）、株式会社共同通信デジタル（代表取締役社長：細田 正和）と、野球選手の特徴分析や能力強化、怪我の予防をサポートする新たな姿勢推定 AI アプリケーション「Deep Nine」を共同開発し、サービス提供を開始しました。国内プロ野球球団への試験導入も決定しています。



【目的と開発背景】

近年、スポーツ領域におけるデータの利活用が進んでいます。プロ野球においても、詳細な投球データ（球速だけでなく、回転数や変化量）、打球速度や角度、守備のトラッキングデータなどを蓄積し、解析することで戦術の向上が図られてきました。

一方で、スポーツにおける本質的な情報である身体動作を定量的に獲得する技術は発展途上

であり、選手の特徴分析や怪我の原因特定および予防はまだまだ困難な状況です。

そこで野球選手の身体情報を十分に活用すべく、ヒューマンセンシングの技術を応用し、身体の位置・角度・速度情報を数値定量化するAIアプリケーション「Deep Nine」を開発しました。

【Deep Nine について】

「Deep Nine」は、動画像から身体情報を定量化し分析できる姿勢推定 AI アプリケーションです。最先端のディープラーニング技術を応用することで、被験者の身体にセンサーを装着することなく、カメラで撮影した映像から身体情報を取得することに成功しました。

本アプリケーションを導入した球団・企業・学校・各種団体・個人の方は、専用サイトにアクセスしてご利用いただくことができます。「Deep Nine」を用いることで、野球選手の特徴分析や能力強化・育成、怪我の予防など、幅広い活用が可能になります。また「Deep Nine」を用いて得られたデータは、より効率的に利活用いただけるよう、検索での絞り込みと振り返り、データ出力といった機能を搭載しております。

【ユースケース】



①選手ごとの特徴の把握：

投球におけるフォームや球種ごとの特徴などを分析し活用することが可能です。

②選手の能力強化：

選手ごとに、身体動作とパフォーマンスとの相関を分析することで、パフォーマンスの良い時と悪い時の身体動作の違いを明らかにし、分析結果を練習やコーチングに活用することが可能です。

③怪我の予防：

怪我をした前後での身体動作の違いを分析し、データを蓄積していくことで、投げすぎによる

違和感や故障の予防、また突発的な怪我や手術からの復帰のサポートが期待できます。

■株式会社 ACES 概要

東京大学松尾豊研究室発の AI スタートアップである株式会社 ACES は、ヒューマンセンシング・画像認識技術を中心に、さまざまなビジネスシーンの課題解決を行う AI アルゴリズムソリューションを開発・提供する他、ディープラーニングを用いた共同研究開発を行っています。

代表者：CEO 田村 浩一郎

URL：<https://acesinc.co.jp/>

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 広報局 広報部

山口、宮田 TEL：03-6216-8041

Email：koho@dentsu.co.jp

株式会社 ACES 広報担当

久野 Email：minako.kuno@acesinc.co.jp

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 関西支社

西澤、志村、高橋（隼）、沢田 Email：baseball-ai@dentsu.co.jp

株式会社 ACES

與島（よじま）Email：sentaro.yojima@acesinc.co.jp

株式会社 GAORA

岩滝 Email：iwataki@gaora.co.jp

生水（しょうず）Email：shozu@gaora.co.jp

株式会社共同通信デジタル

鯉江 Email：sales-sj-t@kyodo-d.jp